
約束

環

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

約束

【Nコード】

N0272P

【作者名】

環

【あらすじ】

雲雀と共にいった湖の奥

そこで2人が交わしたのは小さいけれど
とても大切な2人だけの約束

小さな約束（前書き）

この話は男と男の恋愛表現があります。

B Iに興味のない方は読まないようにしてください

小さな約束

手に持って出かけるのは恋人が好きな料理ばかりをつめたちよつと
大きめの弁当

足取りも軽く芝生の上を掛ける

やがてついたのは広々とした茂みの中

葉の間から木漏れ日が注ぎ頬を風邪が撫でていく

奥へ進むと大きな木の上でお昼寝をする恋人の姿があった

その姿を見つけて走って木下へ行くと音で気づいたのか目を開けて
下を覗く漆黒の目

「おはようございます」

そういうと木の上から降りてきたその人は「おはよう」と一言言っ
て俺の手を引張ってどこへ歩き始めた

「あの、雲雀さんどこへ行くんですか？」

「秘密だよ」

しばらく歩いて茂みを抜けると大きな湖があった

水は澄み渡りどこまでも透明感を保っている

水面に映る木々と水の流れる音が綱吉の心を癒し行く気がした

「うっわぁ、凄いです。物凄く、綺麗・・・」

「でしょ、最近見つけたんだ」

雲雀は水際にしゃがむと手をそつと水に差し入れ水を救い上げ口元
へ運んだ

コクリと喉を鳴らせたのがとてもおいしそうに聞こえた

「飲んでもいいんですか、それ？」

「うん、とってもおいしいよ。綱吉も飲んでみなよ」

荷物を地面に置くと綱吉は両手を水につけてすくい上げる
それを口元に運び喉を鳴らせば喉を潤していく

「おいしい」

そういつて顔を上げればそこには上の服を脱いで上半身裸の雲雀

「っ！／＼な、何を……？」

「水に入るんだよ」

「水に……？」

「そう、この先にねもつと綺麗なところがあるんだ。一緒に来るで
しょう？」

「……行きたいですけど、俺かなずちなんで……」

「大丈夫だよ。そんなに深くないし、僕が傍にいるから。ほら、お
いで」

差し伸べられた手を握ると強く握り返してくれたせい不思議と不
安が一気に吹き飛んだ

お弁当の入った袋は水につかないように雲雀が持って

上の服だけを脱いだ綱吉と雲雀はそつと水の中に足をつけていく

見る見る胸の高さまで浸かった綱吉は雲雀の体に抱きついて一歩一
歩進んでいく

「大丈夫？」

「はい、大丈夫です。あの、あとどれくらいでつくんですか？」

「そうだね、もう少しだよ怖い？」

綱吉はそれに首を横にぶんぶんと振った

「全然、雲雀さんがいるから」

「そう、……あ、ほら聞こえる？」

「ん・・・？あ・・・滝の音」

「もうちょっとだよ」

「はい」

しばらくしてついた場所には先ほどとはまた違った綺麗な場所だった
地面を覆うのは綺麗な花々
傍らには勢い地面に水をたたきつける滝

「沢山のお花だぁ、見てください雲雀さん、これなんかとっても
綺麗ですよー」

「うん、そうだね」

そういつているけれど雲雀の目は綱吉だけを見ていた
綺麗なのは君も負けないよとでも言いたそうな優しい目で綱吉を眺
めていた

「この滝入っても大丈夫ですか？」

「うん、大丈夫だよ」

「じゃ、ちょっと入ってみよう」

しかしその決心もすぐに破られることになる

「ぬぁっ！！いったぁー！！」

余りにも勢いの強い水の流れに泣きながらすぐに出てきてしまった
のだ

「これ、全然大丈夫じゃないですよーっ」

「そう？僕は大丈夫だったけど・・・」

「俺と雲雀さんの体じゃ出来が違うんですっ！出来が！！」

そういつて頬を膨らます綱吉に雲雀は珍しく腹を抱えて笑った
ひとしきり笑い終わった雲雀は背中を地面に預けて青空を仰ぎ見た

その隣に綱吉も濡れた体を倒した

「綺麗ですね」

「そうだね・・・」

「雲雀さん」

「何？」

「好きです」

「僕もだよ」

「ねえ、綱吉」

「はい？」

「ずっと僕の傍にいてよね」

「はい！ずっといますよ。傍に。雲雀さんも俺の傍にずっといて
くださいね」

その約束は小さな約束でも2人にとっては大事な大事な約束
これからの未来ずっと2人でいられるとゆう小さな幸せの言葉（約
束）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0272p/>

約束

2010年11月25日06時20分発行